

藤原直哉の ワールドレポート

第1280号
20/12/30

政治の流動化と民衆の選択

おはようございます。今年も大変お世話になりました。今年も新型コロナウイルスの大流行に翻弄され、来年も春までは厳しい状況でしょう。最近では感染力が非常に強い変異種の流行が広がり、関係機関はとも悲鳴を上げています。一般的にウイルスは感染が小さく広がると弱毒化して収束に向かいますが、今のところはまだ収束への動きが見えません。さらに先日は羽田参院議員が突然亡くなりました。数日前から風邪の症状があつてPCR検査をするかどうか考えていたところだそうです。既に米英でもワクチンの接種が始まっていますが今のところワクチンが効いたという話は聞こえてきません。以前から述べているように漢方と血中酸素濃度測定器、そして換気とマスクと慎重な行動でコロナ禍をやり過ごすしかないでしょう。同時にアフターコロナは一段と大きな構えで臨まないとならない状況がこの年末にもますます顕著になっていきます。まず日本の政治です。菅内閣は支持率が急落し、文字どおり二進も三進もならない状態。特に国民には会食を避けよとか言っておきながら連日の会食。同じように自民党本部や全国の支部でも同じように会食や宴会が行われ、なかにはコンパ

二オンを呼んで宴会を開いた地方も。二階自民党幹事長も会食は行っていない、8人です。ただだけと言いつつ、これには報道を見た多くの人が驚き、まったく世間からずれた今の自民党にはもはや民衆の心をつかむことはできないでしょう。さらに鶏卵業者との贈収賄事件は吉川元農相の事務所などが家宅捜索されましたが、週刊文春には贈賄業者の手帳から自民党の吉川、大島、西川、野村、宮腰氏および亀井静香夫妻の名前が挙がっています。また安倍前首相の桜を見る会についての釈明は、なぜ安倍氏は不起訴、秘書は略式起訴で済むのか、国民はほとんどの声が上がりに、さらに政治資金の不記載はまだあるとして別の告発も行われ、安倍氏が3回目の首相登板という話は急速にしほみつつあります。何しろ最近では国会事務局も閣僚らの発言をよく調べていて、桜を見る会でも森友事件でも首相や財務大臣らが何回事実と違う答弁をしたかという調査結果が国会に上がります。日本の内閣法では内閣は連帯して国会に対して責任を負うとなつていますが、大臣が国会に対して合計数百回も嘘をつくことはそもそも許され

ないことです。さらに茂木外相についても2016年から19年までに1億2千万円の政治資金が報告書に記載されていないという報道が行われ、また検察審査会では黒川元検事長の賭けマージャンについて起訴相当の議決が行われました。黒川氏と言えは安倍内閣で菅官房長官と深い関係にあつて甘利事件を含めて数々の疑惑を闇に葬ってきた人です。その人がもし起訴されれば、明らかに今までの違う力学が働きたことと。さらには冤罪だとして再審請求が行われていた袴田事件について、最高裁は再審を認めないという高裁の決定を取り消す判断を下しました。袴田事件は再審裁判に道が開けました。そして福島第一原発は爆発で溶け落ちた燃料デブリを取り出す作業が再来年以降に延期されることについては宮城県知事が現地を訪問して県議会が反対していることを東電に伝達。先に大飯原発では規制委の地震リスクの評価に疑問があるとして原発設置許可の取り消し判決が出たばかり。宮城県知事は先日、女川原発の再稼働を認めました。その判断に誤りはないとして同意撤回をしない考えを表明。しかし地元の不安は根強く、要するに原発再稼働で入ってくるカネを当てにした行政はもう限界を迎えているのです。来年の東京五輪についてはほとんど誰もこれが開催できるとは思っていないわけですが、菅首相はあくまで五輪を開催すると言いつつ、しかし既にGOTOトラベルは全国で中止され、1月末まで外国人の新規入国は停止されます。飲食、観光業界はもう既にかなり厳しい状況に追い込まれています。逆には五輪特需を当て込んで政治家が業界に献金をさせていたとしたらその穴埋めをすることもできず、五輪誘致を含めて隠されていた秘密が表に出るかもしれません。JR東海のリニア新幹線についてもJRは、静岡県に対して湯水期の沢で動植物が消失する可能性があるという資料を提出し、県知事があつたことについて、JRが事実上認められたことになり。さらに調布で起きた道路陥没事故は結局大深度トンネル工事の影響であることが判明し、リニアでも神奈川県などで大深度トンネル工事が行われることから住民に不安の声が上がっており、大深度トンネル工事は地上の地権者の了解が不要というそもそもの前提が崩壊しています。こうなると地上の補償をしながらの工事に なりますからとても予定どおりに工事を進めることはできません。既にJR四国は債務の株式化を含む5年間で1千億円の支援を受けることになり、JR九州は割引切符の廃止と値上げ。また日航と全日空も年末年始の国内線の予約を下方修正。果たしてコロナ後に運輸業界全体は

【第9回】藤原直哉の時事ネットサーフィン 改めて注目される「検閲」 藤原直哉が世界をどう俯瞰しているのか、軽いタッチでご紹介しています。シリーズになります。Vimeoでの販売になります。https://vimeo.com/ondemand/naoyawebseries9

活にそれを駆使することができ
る言葉、外国語は成長の過程で
勉強しながら身につけた言葉
で、学ばなければ決して使えな
い言葉です。すると日本も世界
もだいたい西暦2千年以降生ま
れた人たちはデジタルが母国語
であり、彼らは特に学校や本で
学ばなくてもデジタル機器を駆
使できます。一方それ以前に生
まれた人たちは学ばなければ一
生使えないのがデジタルの世界
で、今回はデジタルを母国語と
して学んだ人、デジタルを外国
語として学んだ人、そしてデジ
タルを学ばなかった人で決定的
に情勢認識で差が発生。それは
ちょうどソ連共産党が崩壊し
て、ソ連共産党の熱心で一途な
党員が一挙に投げ出されたよう
なことが起きるのではないで
しょうか。まずデジタルを母国
語とする人やデジタルを学んで
身につけた人は、そもそもテレ
ビや新聞をそのまま観たり読ん
だりすることはほとんどありま
せん。すなわち情報源に正統と
非正統の区別をつけません。で
すから正統なニュースを信じて
非正統なニュースは話半分に関
とといった行動はとりません。

ばらばらになった各種ニュース
をさまざまな媒体から好きなよ
うに選んで観て読んで自分の意
見を持ち、そこには当然無数の
情報解説者の声が入り、まさに
混とんとした情報の海で他人の
動向をよく注視しながら自分で
情報を集め、自分で判断してい
ます。筆者は25年前にテレビ

によく出ていましたが、当時は
よくテレビで観ましたと言われ
ました。その後はNHKラジオ
に出ていました。そのためよく
ラジオで聴いていますと言われ
ました。また昔はよく本を書い
ていたので、本を読みましたと
言われました。しかし15年前
からネットラジオを始めると
ネットラジオでよく聴いていま
すと言われます。たとえば筆者
が15年前から限界集落の村お
こしに取り組んでいる南信州遠
山郷のツアーに参加する新規顧
客のほとんどは、ネットラジオ
を聴いていらっしやる方です。
そして数年前からまだ途中段階
ですがネット動画のユーチュー
ブで情報発信を行っています。
すると最近では本場に多くの方
からユーチューブで観ています
と言われます。デジタルができる
人たちは何か疑問を感じるとす
ぐにネットで検索します。よく
若い人たちが人の話を聞きなが
らスマホを触っていると非難す
る中高年がいますが、あれはた
いていメモを取っているか、わ
からないことをネットでその場
で調べているのです。ネットに
は実に多様な情報が正統・非正
統の区別なく流れています。か
ら、自分が腑に落ちる情報にた
どり着くまで情報を探し続けま
す。さらにネットの検索は近年
ユーチューブの検索になること
が多く、ユーチューブ上にはあ
らゆる分野の人たちがあらゆる
解説記事を載せています。そし
てデジタルを母国語とする人と

外国語として学んだ人の違い
は、母国語の人はそれが当たり
前での疑問も抱かないのに対
して、外国語として学んだ人は
正統と言われる情報源との差に
注目して、それが既得権益層の
ズレを測る尺度だということに
気づきます。すなわち政治家や
役人や大企業の経営者が得意に
なっていることを正統と言
われるメディアがありがたそう
に報道する。あるいは本場に大
事なことほど一切報道しない。
しかし本場にはたくさん出ている
がネット上にはたくさん出ている
。するとその差こそいま自分
たちが依存している体制が何度
ぐらい傾いているかを知る分度
器になるわけで、筆者もそうい
う情報の見方をしています。実
は今回は米国でも同じことが起
きました。主要メディアは全部
影の政府と言われる利権屋の擁
護に回り、トランプとその支持
者はネットとライブを駆使して
彼らの不正を暴き、今や利権屋
側は総崩れ一歩手前の段階まで
追い込まれています。トランプ
は頭が良いだけでなく腹が座っ
ています。主にネットを駆使し
ながら人々にハラハラさせなが
ら自ら立ち上がることを促し、
誰が民衆のふりをした裏切り者
であるかを際立たせ、最後はラ
イブ集会に大量の人を集めて気
勢を上げます。それはまるでト
ランプがかつて仕事としていた
プロレス興行そのものです。一
般にこうした政治スタイルは全
体主義と言われますが、トラン

プの場合は驚くべきことにそ
の正反対だと言わざるを得ま
せん。すなわちもともと統制
的な全体主義が嫌いで、根源
的な自由を求める人たちを集
めて政治を動かしているのが
トランプです。ですから頭・
心・腹がつながった各界の一
流の人たちが集まってトラン
プ革命を推進しているという
状態で、でなければここまで
鮮やかに革命は進展しません。
結局トランプは1776年に
米国が英国から民衆の国とし
て独立したことを原点に設定
し、2021年は米国が利権
屋から民衆の国として独立す
るという革命を推進している
のです。政治も経済も軍事も
とにかく利権屋から独立して
原点に戻って民衆が運営する
国に戻す。トランプたちはよ
くわれわれ民衆と言いますし、
神を大事にします。近年米国
は多文化国家としてキリスト
教色を薄めてきましたが、そ
れはソ連と同じで社会主義で
あるとして米国はキリスト教
国として独立したのだからキ
リスト教を大事にするとし、
多文化国家として今まで休日
でなかったクリスマスを連邦
休日になりました。結局ソ連は
崩壊してロシアになって再び
ロシアのキリスト教は発展し、
プーチン大統領も大変信心深
い人のようです。そもそもど
んな国でも組織でも宗派に関
係なく、本物の信仰心のない
人に大きなリーダーシップな

どとれるわけがありません。一
方こうした米国の2度目の独立
に当たって敵になったのが中国
共産党です。中国共産党は米国
のあらゆる分野の利権屋と深く
結託し、またイラン、ベネズエ
ラとも深くつながり、あらゆる
分野から米国を自分たちの支配
下に置こうとしてきました。そ
れをトランプたちが根底から
ひっくり返すというのがストー
リーで、ちょうど中国共産党の
不始末で新型コロナウイルスで大量の死
者が米国でも世界でも出ている
ことですし、ここで一気に叩き
落そうというわけです。ですが
以前から言っているように日
本のように利権屋代表のバイデ
ンと敵方である中国共産党の習
近平や王毅外相と仲良くしてい
たら、米国の同盟国と言われる
日本は大変なことになるわけ
です。しかしもう完全に手遅れ
。結局トランプたちは前回16年
の選挙で4年後の今回の選挙で
も必ず不正を働くとして幾重に
も罫を仕掛け、18年に中国共
産党が投票マシーンの会社を
買ったことで外国干渉の選挙と
いう事実上の戦争だと認定。そ
して予想どおり彼らが盛大に不
正を行い、その証拠を全部抑
え、しかし司法も地方政府も腐
敗していますから、まるでプロ
レスで善玉が悪玉に反則技で攻
められて聴衆が不安がる様子を
演出。逆に誰が敵かを浮き彫り
にさせ、軍は非公開の抑えで活
躍させながら表は民衆の力を集
めて民衆が2度目の革命を起こ

したという歴史の事実を作り上
げようというわけです。米連邦
議会もトランプにフラフラにさ
れ、コロナ救済予算は結局トラ
ンプの言う一人2千ドルの支給
を別途法案を作って認めなけれ
ばならなくなりましたし、ネッ
ト企業の検閲を是認した国防法
案が大統領が否決。もしそれを
議会が再可決したら世論が許さ
ないという状況に追い込んでい
ます。まさにプロレス興行で、
聴衆というが民衆自身が時々
刻々ハラハラし、うれしくな
り、最後は自分も集会に参加し
て新時代の幕を開くという、ま
さにデジタル・アナログ2本立
てのものすごい政治革命が進行
しているのです。それから最後
に英国です。英国の欧州からの
離脱は合意がまとまりました
が、結局金融に関する緩和措置
と関税や輸入割り当てがなくな
るだけの話で離脱は離脱、本格
的な英国の自立が待ったなしで
始まります。たとえば昔英国の
植民地だったジブラルタルはE
Uの自由移動を認める条約に加
入し、旧宗主国の英国人はパス
ポートがないと入国できない
が、それと敵対していたスペイ
ンは今後パスポートがなくても
入国できる、そんな形になるう
としていきます。結局英国の離脱
も民衆の選択です。こうして令
和2年ほどでも民衆の時代の
扉が開き始めました。日本の民
衆も来年は他人事を言ってい
られません。アフターコロナは正
念場です。どうぞ佳いお年を。

・自治調査研究会 1月26日(火)18時「日本政治の行方―原点回帰の在り方」と題して、元自民党副総裁・国務大臣 山崎 拓 先生のご講演。
先着80名(要予約)。神奈川県民サポートセンター304号会議室 ※新型コロナウイルス感染予防のためマスク着用厳守。お問合せ先：自治調査研究会(045・263・0055)まで。
※12月28日(月)〜1月3日(日)まで年末年始休暇となります。本年最後のワールドレポートは12月30日(水)の発行となります。